



学校教育目標 「よりよく生きようと学び合う子どもの育成」  
 めざす子ども像 「自分で考え、進んで学ぶ子」  
 「認め合い、励まし合う子」  
 「心身ともに健康で、最後までやりぬく子」

2023年(令和5年)年7月28日  
 福山市立野々浜小学校  
 校長 埜田 勝司

〒721-0926 福山市大門町七丁目13番1号 E-mail: shou-nonohama@manabi.city.fukuyama.hiroshima.jp  
 TEL:084-943-9701 FAX:084-943-9762 学校 HP:http://www.manabi.city.fukuyama.hiroshima.jp/shou-nonohama/

## 保護者・地域とともに歩む野々浜小学校 ～コロナからの復活劇～

4月にスタートした本年度の1学期も残すところあと一日となりました。今から考えるとあっという間だった気がしますが、子ども達はたくさんの経験を通して多くのことを学び、成長を遂げた姿がギュッとつまった学期となりました。5月には長い間悩まされてきた新型コロナウイルス感染症の5類への移行とともに、たくさんの“コロナからの復活劇”もありました。保護者の皆さん、地域の方々とともに歩んだ野々浜小学校の1学期について振り返ってみます。

### 子ども達の成長 ～かしこく・うつくしく・たくましく～

1年生は4月に入学してから、小学校生活にもすっかり慣れ、新しいこととの出会いの連続に目を輝かせながらいきいきと取り組む姿が見られる毎日でした。多くの仲間と共に学び合うこと・協力すること、そして相手のことを考えることを通してできるようになったことがたくさんあります。人生で初めての長い夏休みには健康・安全に気をつけ、さらに好奇心を広げて過ごしてもらいたいものです。

2年生は1年生のお兄さん・お姉さん役として、生活科の合同学習や運動会の練習などで率先して活動したり、優しく友達と関わり合ったりする姿が多く見られました。また、日頃のふとした学校生活の中でも1年生のことを気にかけて声をかけたり助言をしたりする様子も見受けられました。チャレンジノートへの挑戦も始め、自主的な学習が身についてきました。夏休みにも継続して取り組んでほしいものです。

3年生は学習課題に対して自分の考えをまとめたり、友達と意見交流したりしながらさらに学習を深めていこうとする姿勢が育ってきました。また、友達関係について考える場面が多くあり、互いの願いを伝え合うことを通して「仲間を大切にする」という学びを積み重ねてきました。3年生の教室を訪れた時はいつも元気の良い素敵な挨拶で迎え入れてくれるのもうれしかったことの一つです。

4年生は学年を重ねるにつれて、学びへの意欲が向上してきた児童が増えました。授業でタブレットを使った学習機会も多くなり、学習課題を自分なりの方法で解決したり、自身の考えを発表する中で深めようとしたりする姿をよく見ました。夏休みには自分の興味関心のあることを続けたり、新たなことに挑戦したりすることを通して視野を広げ、仲間とともに励まし合いながら成長する高学年へと進んでいってほしいと願っています。

5年生は学級の仲間と協力することの重要性を自分たちで実感できた1学期だったのではないのでしょうか。学習や生活の課題に対して前向きに取り組み、自分たちで解決しようとする学級の雰囲気がさらに育ちました。特に一泊



学校探検をする1・2年生



戻ってきた歌声(音楽科)



運動会での表現(中学年)



力あわせて野外炊飯(5年)

二日の野外活動で見せた「信頼」「思いやり」「自立」ある行動は立派なものでした。施設の方から「野々浜小の5年生の協力性はすばらしかった。とりわけ野外炊飯の片付けをこんなに一生懸命丁寧にやってくれた学校は他にありません。」と褒めてもらいました。着実に最高学年への階段を上っていると感じています。夏休みは家庭科での学びを家庭生活で生かすなど新たなチャレンジに期待しています。

6年生は昨年度末から練習を重ねてきた野々浜太鼓に、4月からは和太鼓奏者「我龍」の竹内さんの指導が加わり、演奏にさらに磨きがかかりました。太鼓を通して成長した姿を学区体育祭で見事に披露することができました。今は8月5日の野々浜地区の盆踊りでの演奏に向けて、炎天下での練習にも励んでいるところです。また、6年生は4月から児童会や委員会、通学班や縦割り班など多くの場面でリーダーとしての責任を背負うことになりました。最高学年としての自覚を年度当初からしっかりと持ち、先頭に立って行動することを地道に続けてきている児童がたくさんいます。一方で、学びに向かう姿勢や場に応じた態度など、最高学年として手本となるよう行動で示してほしいと思う場面もあります。下学年から、慕われ頼りにされる最高学年の一人一人となれるよう頑張ってもらいたいと思っています。

かがやき1組は4月から新たに3人のメンバーが加わり6名となりました。力を合わせて一つのことを役割分担して作ったり、一人一人の学びを大事に学習を進めたりすることを通して、お互いを思いやる心も成長してきています。

かがやき2組は新たに2名が加わって4名の仲間で生活しています。学習意欲が高まり、集中して学び合う姿が多く見られるようになりました。かがやき1組との合同授業の際には高学年の児童がリードして進める場面も見受けられました。

保護者の皆様には、個人懇談での内容をもとに、1学期の成長とこれから頑張っていくことについて子どもさんとじっくりと語り合っただき、目標を持って2学期に向かう夏休みとなることを期待しています。

## ～運動会・学区民体育祭～

2023年(令和5年)5月21日。3年以上にわたって苦難を強いられてきた新型コロナウイルス感染症からの完全復活という形で迎えた今年の学区民体育祭は4年ぶりの1日開催となりました。久しぶりに制限のない運動会に、会場は大きな歓声や拍手で包まれ、アットホームな雰囲気の中、子ども達は練習してきた練習の成果を思う存分に発揮し、大きな達成感をもって終わった一日となりました。保護者や地域の方々と一緒に楽しく過ごしたこの一日に、私自身も「地域とともにある学校」としての存在意義を改めて実感しました。

6月17日に行われた「学区体育祭反省会」においても地域の方々や保護者の方からも「久しぶりに学区が一体となった楽しい一日になった。」という声が多数寄せられるとともに、よりよい体育祭にするための提案も出され、今後も学区全体で地域・学校を盛り上げていこうという機運の高まりを感じました。

福山市教育振興計画では3年後の2026年度には市内全小中学校でのコミュニティ・スクール導入が予定されています。保護者・地域と学校が一体となって学校運営に参画し、課題を共有し解決に向けて協働していくという体制づくりに向けての良いスタートが切れたのではないかと思います。



7代目野々浜太鼓(6年)



1組・2組合同学習  
(野菜の苗を購入)





## 地域の方々に世話になっています！～登下校の見守り・あいさつ運動～

今年度もCSA(児童支援の会)と交通指導員のみなさんによる登下校の見守り活動を行ってもらっています。子ども達の安全と安心を願いながら「おはよう」の挨拶とともに、毎日欠かさず出迎えてくださっています。

6月13日にはCSAの方々と交通指導員さんとの顔合わせの会を行い、児童代表の挨拶に続いて、皆さんから自己紹介をしていただきました。その中で「児童の皆さんからの挨拶の声が返ってくると自分もうれしい。」「車に気をつけてみんなで元気に学校に通ってください。」「というお話もいただきました。CSAや指導員の方からのお言葉に「よろしくお願いします」と元気よく返答する子ども達の声に、『時間を守って集合するぞ。』『感謝の気持ちをあいさつで表すぞ。』という気持ちを感じることができました。

この他にも毎月第2木曜日に民生児童委員の会の方々が校門前に立って挨拶運動をしてくださったり、福山東署管内の少年補導協助手員の方々が挨拶運動を展開してくださったりされています。「少しずつ子ども達の挨拶が元気の良い声に変わってきていますね。」と児童の成長を認めてくださっています。



## ～授業参観・プールでの水泳指導～

新型コロナウイルス感染症の5類移行・感染対策の緩和措置を受けて、学校活動もコロナ前の状況に戻ったものも多くあります。

6月には久しぶりに人数制限のない授業参観を実施し、たくさんの保護者の皆様に子ども達の学ぶ様子を見ていただきました。また、学級懇談も行い、児童の学校生活での頑張りや成長・課題や取組等について話し合いました。顔を見ながら意見を交換し合うことの緊張感・安心感も味わわれたことと思います。子ども達のより良い成長をめざして学校と保護者で歩調を合わせて取組を進めてまいりましょう。

6月～7月にかけてはプールを使っての水泳指導も4年ぶりに再開しました。4年生までは小学校のプールに入った経験はなく、最初は緊張しながら入水する様子も見られましたが、慣れてくるに従い、リラックスして水と戯れる姿は微笑ましく見えました。登校時に「今日はプールあるんだ！」と嬉しそうに話してくれる子ども達の笑顔を見ながら、「やはり夏の学校はこうでなくちゃ！」と思える学期末となりました。



## 野々浜っ子の努力の結晶！～チャレンジノート編～

子ども達は家庭学習で自主学習に励んでいます。その自主学習ノート(本校では「チャレンジノート」と呼んでいます)の取組に対して、学習内容やまとめ方の工夫など秀逸なものを学年で1点選び、表彰・掲示しています。4月～6月分の表彰者は以下のとおりです。表彰状のチャレンジノートの画像や「先生からのメッセージ」を見ると、どの児童のノートも生活の中で「はてな?」と思ったことを調べたり、「今の自分」を見つめて高めていこうとしたり、思考を働かせた素敵なものになっています。夏休みにもぜひ継続して取り組んでほしいものです。表彰者は次のとおりです。(1年生は今年度の表彰はありません。)

	2年	3年	4年	5年	6年
4月	A.Rさん	S.Aさん	F.Mさん	W.Rさん	W.Sさん
5月	T.Rさん	W.Rさん	A.Kさん	O.Aさん	K.Aさん
6月	N.Sさん	O.Kさん	M.Yさん	W.Mさん	W.Hさん

※個人情報保護のため、名前はイニシャルにしています。

## 七夕飾りに願いを込めて

今年も7月7日の七夕を前に、各学級で七夕飾りをしました。各自が願いを込めて書いた短冊や飾りで教室前の廊下が華やかになりました。子ども達の書いた短冊を見て回ると、世界的な視野をもったものや家族や身の回りの大切な人の幸せを祈ったもの、自分の将来の夢など多岐にわたった願いが書き込まれていました。一人一人の願いを見た後、「みんなの願いが叶いますように」とそっと手を合わせたある日の夕方でした。



## 図書を寄贈していただきました！

7月11日に「子どもの応援団」様より児童書 400 冊を寄贈していただきました。「子どもの応援団」は市内各所から寄付された中古の本を長く大切に使えるようにブックカバーを施して福山市内の小中学校の子ども達に届ける活動をされている団体です。その功績が評価され、本年1月27日には福山市教育委員会から「福山学校元気大賞」を受賞されています。

右の画像に写っているのは寄贈していただいた中の一部ですが、400冊の児童書を夏休みの間に各学級（8クラス）に分け、2学期から学級文庫として子ども達にすぐ手の届くところで本に親しむことができるようにする予定です。読書習慣を身につけ、豊かな心や想像力、文章を読む力などを養ってほしいなと思います。「子どもの応援団」様には図書を寄贈いただき、ありがとうございました。大切に利用させていただきます。



## 6年生が取材を受けました！

### ～「FMふくやま」こども新聞&On Air～

「FMふくやま」様から6年生が2度にわたって取材を受けました。

一回目は5月に「こども新聞」（毎月発行）の「ええじゃろ！うちの学校」のコーナーの取材ということで、前期児童会の役員がインタビューされました。インタビュー収録後、ちょうど「我龍」の竹内さんに太鼓の指導を受けるタイミングと重なったので、練習の様子もFM福山の方に見ていただきました。その際に「ぜひ野々浜子ども太鼓の紹介をFM放送の番組内でも紹介したい。」と言われていました。

二回目はFMふくやまの番組「ママラジ」の取材を7月にしてもらいました。野々浜子ども太鼓の演奏とインタビューの収録をしてもらいました。この時の様子は7月25日にFMふくやま「ママラジ」の番組内で放送されました。この放送の様子はFMふくやまのHPにて近日中に映像とともに公開され、閲覧できるようになるそうです。詳細は後日メール等にてお知らせします。

FMふくやま  
月刊こども新聞  
(6月号)



## 職員の異動について

6月30日より産休・育休に入った〇〇〇〇養護教諭に代わり、同日付で〇〇〇〇養護教諭が本校の勤務となりました。〇〇養護教諭は4月より妊娠養護教諭補助としてこれまでも勤務しており、引き続き本校の業務に従事することとなります。どうぞよろしく願いいたします。